

国立スポーツ科学センター（JISS） オプトアウトにより実施する研究

研究課題名	バドミントン競技におけるフィットネス要素と競技力向上の関連性の検討
倫理審査委員会承認番号	2025-007
研究開始日	2025年5月8日
研究終了日	2026年3月31日
研究目的	本研究は、バドミントン競技日本代表選手に対して実施したフィットネスチェックおよびフィットネスサポートを基に得られたデータを活用し、バドミントン競技に特化した体力要素の抽出について検討するとともに、サポートを通じて得られた実践的知見を整理することを目的としています。
研究対象者	パリ2024大会出場を目指し、日本代表合宿時に実施したフィットネスチェックおよびフィットネスサポートを受けた選手
研究概要	本研究では、バドミントン日本代表選手に対して行ったフィットネスチェックおよびフィットネスサポート（トレーニング、栄養調査、コンディション評価）から得られたデータを活用し、バドミントンに特化した体力要素と競技力向上の関連性を検討します。具体的には、競技特有のアジリティテストや膝伸展筋力、アイソメトリックミッドサイプルテスト、カウンタームーブメントジャンプテストの結果をもとに、各測定項目間の関係性を分析します。こうした分析により、選手ごとの課題抽出や目標設定、トレーニング介入およびその効果の評価が可能となり、トレーニングプログラムの最適化に繋がります。また、サポート活動を通して得られた実践的な知見を整理・検討することで、エリートバドミントン選手のパフォーマンス向上に資する支援の高度化が期待されます。
研究に用いる情報の種類	体組成（身長、体重、体脂肪率、除脂肪量、LBMI）、オンコートテスト（到達時間、血中乳酸濃度、心拍数）、アイソメトリックミッドサイプルテスト（最大筋力、最大パワー）、カウンタームーブメントジャンプテスト（跳躍高、Rate of Force Development（RFD））、BIODEX（膝伸展・屈曲筋力（60°/sec、180°/sec））、栄養調査（エネルギー摂取量、各栄養素摂取量（タンパク質、糖質、脂質））、尿比重、脱水率、飲水量、発汗量
研究の資金源	本研究の資金源はJISS支援事業費です。
研究に係る利益相反及び個人の収益	本研究に係る利益相反や個人の収益はありません。
研究責任者	中村真理子/スポーツ科学研究部門
共同研究者	安藤良介、中島大貴、玉井伸典、亀田麻依（以上、スポーツ科学研究部門）、高柳尚司、妙園園香苗（以上、スポーツ医学研究部門）、飯塚太郎（JSCハイパフォーマンスサポート事業）、星川佳広（日本女子体育大学）
問合せ先	中村真理子・スポーツ科学研究部門・03-5963-0238・mariko.nakamura@jpnsport.go.jp